

今年の梅雨の見通し等について

本日の話題

- ・ 梅雨の見通しについて
- ・ 令和8年出水期からの防災気象情報の改善

資料

- ・ 地域防災支援に関する取り組み
- ・ 線状降水帯半日前予測の実績（R6）



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来
(気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー)



今年の梅雨の見通しについて



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来
(気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー)



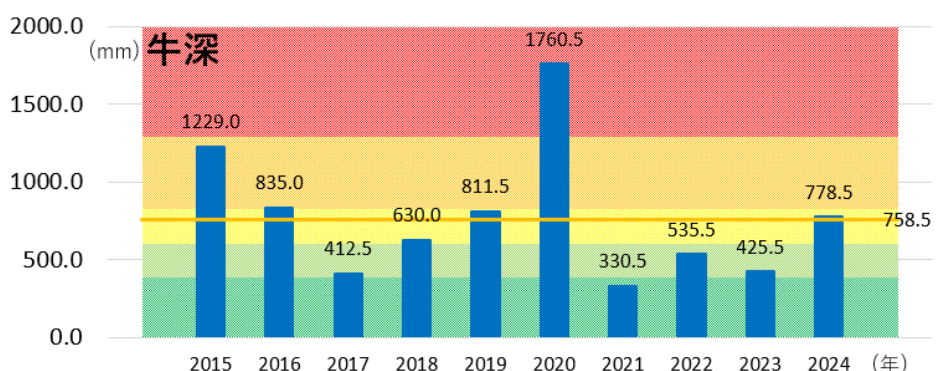
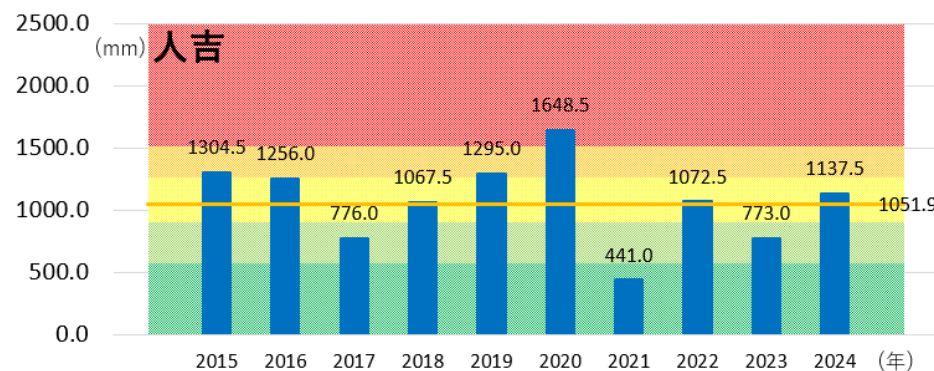
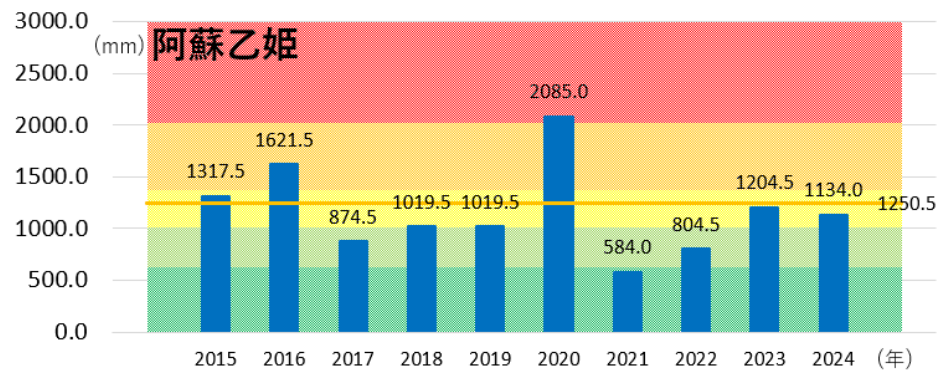
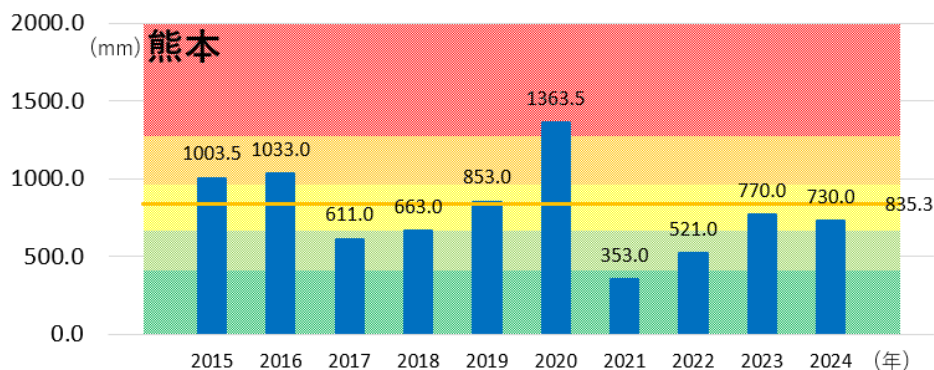
熊本県内の梅雨時期の降水量

九州北部地方の梅雨入り、梅雨明け日

※九州北部地方：山口県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県

【平年値】梅雨入り：6月4日頃、梅雨明け：7月19日頃（令和6年：梅雨入り：6月17日頃、梅雨明け：7月17日頃）

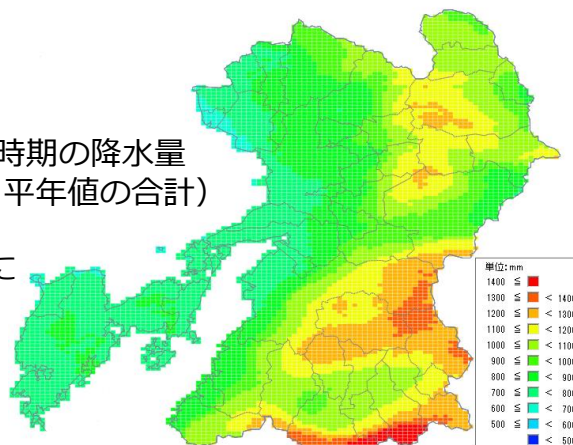
熊本県内主要4地点における梅雨時期の合計降水量(2015年以降)



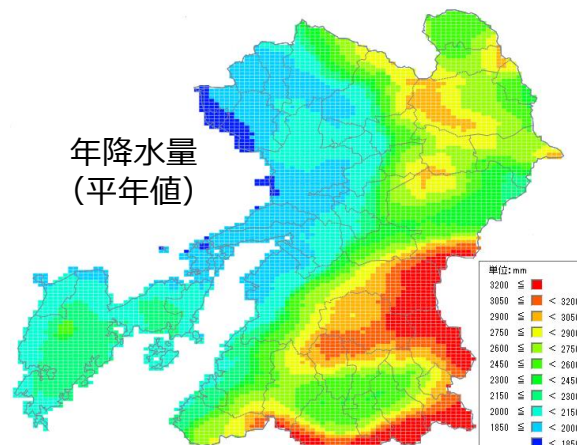
平年値 —
かなり多い ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■
多い ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■
平年並 ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■
少ない ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■
かなり少ない ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■

熊本県の梅雨の特徴

梅雨時期の降水量
(6,7月平年値の合計)



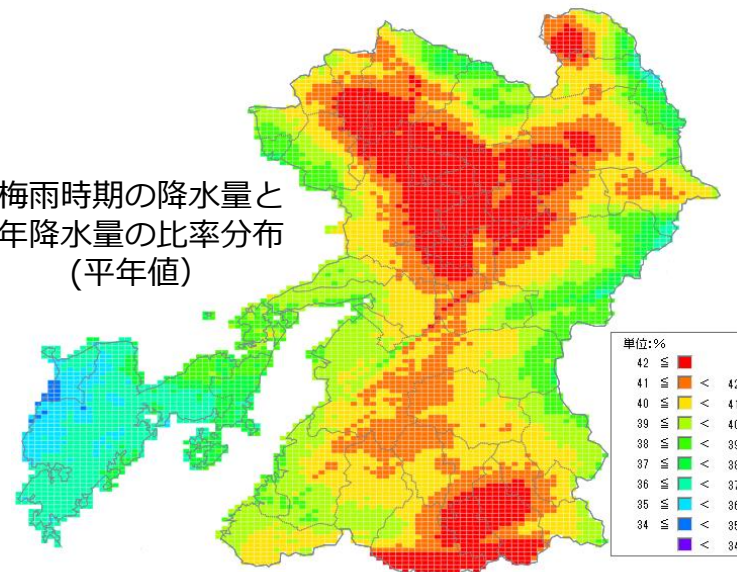
年降水量
(平年値)



平年値（1991～2020年）による、年間降水量に占める梅雨時期（6～7月）の降水量の割合

観測地点	平年降水量 (mm)		比率 %
	梅雨期間	年間	
熊本	835.3	2007.0	42
阿蘇乙姫	1250.5	3009.6	42
人吉	1051.9	2534.9	41
牛深	758.5	2109.8	36
下関	563.0	1712.3	33
福岡	548.7	1686.9	33
佐賀	693.8	1951.3	36
長崎	628.6	1894.7	33
大分	574.9	1727.0	33
宮崎	855.6	2625.5	33
鹿児島	935.1	2434.7	38

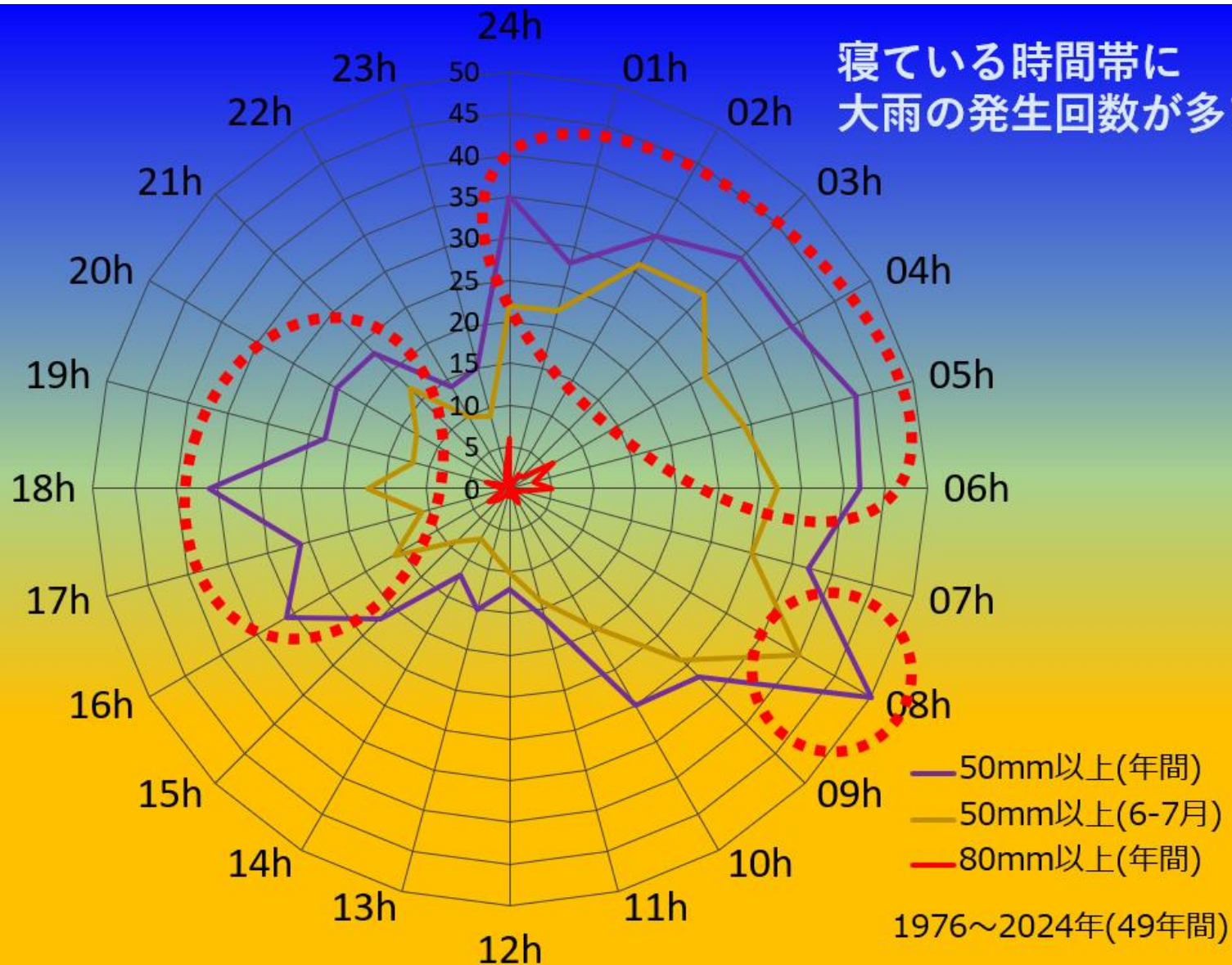
梅雨時期の降水量と
年降水量の比率分布
(平年値)



熊本県内の年間降水量は、九州山地西側の球磨地方や阿蘇地方で特に多い。
 また、**年間降水量に占める梅雨時期の降水量の割合が比較的大きいのが熊本県の特徴。**
 たとえば、熊本では年間降水量2000ミリ前後に対し、6～7月の梅雨時期の降水量は800ミリ程度で、
年間降水量の約4割を占める。

夜間

寝ている時間帯に
大雨の発生回数が多い



昼間

今年の梅雨の見通し（向こう1か月の天候の見通し）

九州北部地方 向こう1か月の予報のポイント（5/24～6/23）：5/22発表

- 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並みか高い。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多い。

5/24～5/30	天気は数日の周期で変わるでしょう。
5/31～6/6	天気は数日の周期で変わりますが、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
6/7～6/20	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

		1か月の平均気温、降水量		
気 温		低	並	高（％）
		平年並みか高い 20：40：40		
降 水 量		低	並	高（％）
		平年並か 多い 20：40：40		

今年の梅雨の見通し（向こう3か月の天候の見通し）

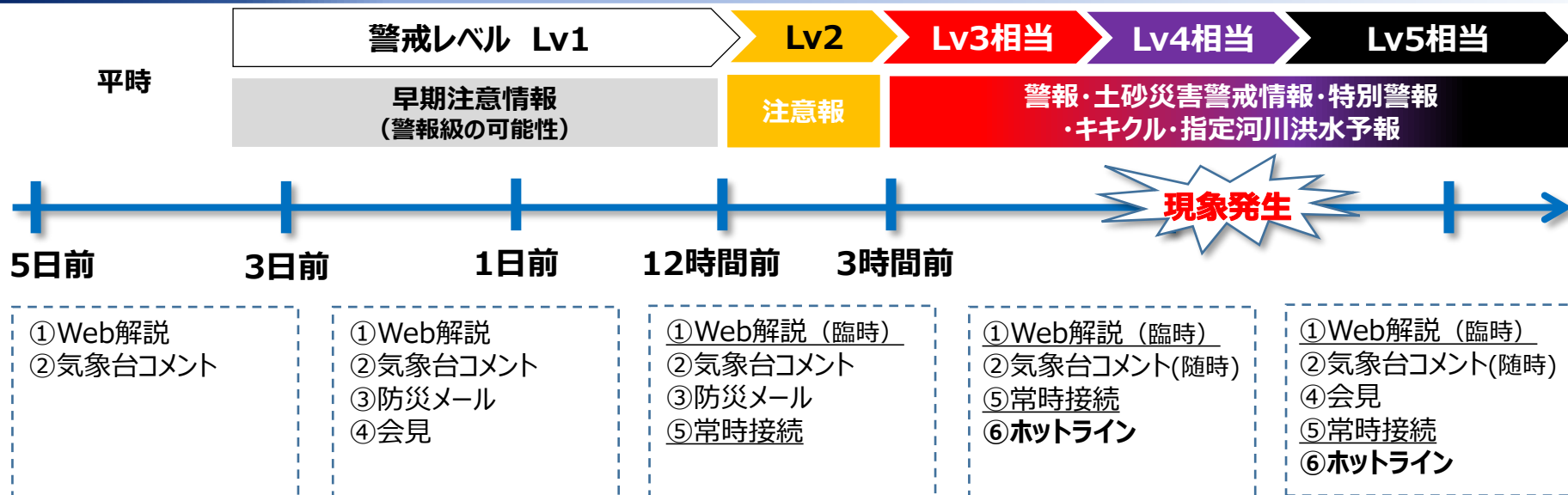
九州北部地方 向こう3か月の予報のポイント（5 /20発表）

- 気温は、暖かい空気に覆われやすいため、**高い**
- 降水量は、前線や湿った空気を受けやすいため、**平年並が多い**

6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
8月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

	6 月	7 月	8 月
気 温	低 並 高（％）	低 並 高（％）	低 並 高（％）
	高い 10：30：60	高い 20：30：50	高い 20：30：50
降 水 量	少 並 多（％）	少 並 多（％）	少 並 多（％）
	ほぼ平年並 30：30：40	ほぼ平年並 30：30：40	ほぼ平年並 30：30：40

気象解説の流れ



情報発信ツール	役割	発表等のタイミング
①Web解説	資料を用いて詳細な解説	6月から10月は毎週(金) 11時30分 早期注意情報 [高] が予想される場合は臨時解説
②気象台からのコメント (HP)	予報・警報の補完的な解説	通常は定時更新(5時、10時、16時)、悪天時は随時更新
③防災メール	気象台から防災担当者へ気付きを与えるプッシュ情報としてメール発信し、臨時解説へ誘導	早期注意情報 [高] が予想される場合
④会見	報道機関を通じた危機感の呼びかけ(防災関係機関と合同で開催することもある)	広範囲で警戒レベル4相当以上が予想される場合 (1～2日程度前、特別警報発表時等)
⑤常時接続	自治体と常時オンラインで接続しリアルタイムで気象解説を実施、問い合わせに対応	広範囲で警戒レベル4相当以上が予想される場合等
⑥ホットライン	気象台から防災担当者、市町村長へ個別に電話連絡を行い、一層の危機感を伝える	警戒レベル4相当情報以上が予想される場合、過去の大きな災害に匹敵するような記録的な気象現象が予想される場合等

令和8年出水期からの防災気象情報の改善



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来
(気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー)



特別警報の種類

大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、波浪

警報の種類

大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、洪水、波浪

注意報の種類

大雨、強風、風雪、大雪、高潮、洪水、波浪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

危険度を色分けした時系列



土砂災害警戒情報

土砂災害の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同して発表

指定河川洪水予報

河川管理者(国土交通省、都道府県)と共同し、河川を指定して発表

キキクル(危険度分布)

雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示



〇〇県(〇〇地方)気象情報

警報等を予告、補完する事項または少雨・低温など注意を喚起すべき事項を気象情報として発表

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度の短時間の大雨が観測された場合は、記録的短時間大雨情報として発表

線状降水帯に関する様々な情報

・ 顕著な大雨に関する気象情報
線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報

・ 線状降水帯の発生の予測

線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、気象情報において半日程度前から地方予報区単位で呼びかける情報

台風に関する情報

台風の中心位置や強度の実況および予測に関する情報を発表

台風予報図表示例

台風第〇号 10日15時現在
大型
北緯 ... 東経 ...
最大風速 ...
最大瞬間風速 ...



5日先までの進路及び強さの予報を発表

竜巻注意情報

竜巻など激しい突風の発生する危険な気象状況の場合に発表

千葉県竜巻注意情報 第2号
平成29年10月29日17時42分 銚子地方気象台発表

千葉県北西部、南部は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。

空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、29日18時50分まで有効です。

主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

警戒 レベル 相当 情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4 相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える可 能性が高い 高潮注意報
2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1 相当	早期注意情報				

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があってとても分かりにくい。

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル 4 相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル 4 になっている（高潮）
- 高潮注意報がレベル 2 とレベル 3 相当に分かれている（高潮）
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている（大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）**11**

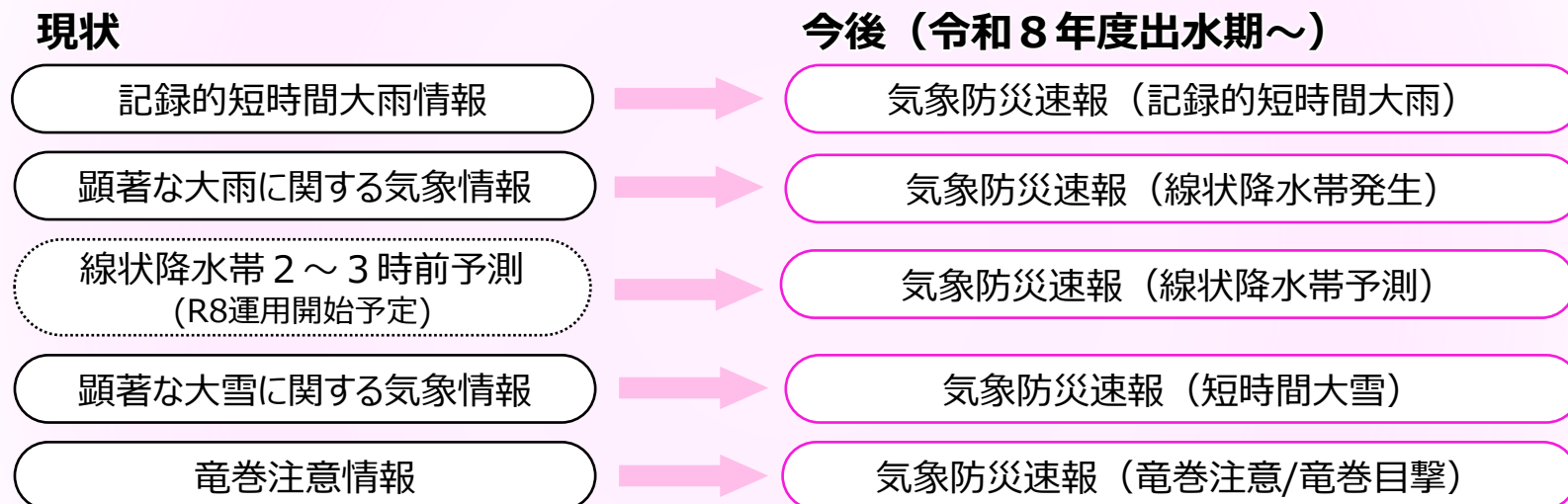
- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れ や土石流	高潮 海水面上昇や 高波による浸水		行動を促す情報 避難情報等	住民が 取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別 警報	レベル5 高潮特別警報		緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----							
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険 警報	レベル4 高潮危険警報		避難指示	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報		高齢者等避難	避難に時間を要する人は早 めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報		左記情報	避難行動を確認（避難場 所や避難ルート、避難のタイ ミングなど）
1	早期注意情報						災害への心構えを高める

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報



令和8年出水期からの新しい情報の運用開始にあたっては、大幅に情報が変更になります。

各市町村での対応におかれまして、ご不明な点などございましたら、お気軽に気象台までお問合せ下さい。

【見込まれる対応】

- ・地域防災計画の改訂
- ・避難情報の発令基準の見直し
- ・防災体制や参集基準の見直し
- ・タイムラインの見直し（策定している場合）
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の修正（対象施設への修正支援）
- ・防災メール、防災ラジオ、防災行政無線等による警報等の住民への伝達手段の改修
- ・警報等の住民への伝達文の改修（新しい情報名称への変更）
- ・新しい情報の住民への周知広報

地域防災支援に関する取り組み



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来
(気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー)



市町村における地域防災支援のための気象解説について、Web会議を活用した定期的な気象解説、および悪天時の常時接続等の実施により改善

- 県、市町村、報道機関等を対象として出水期（6月～10月）の毎週金曜日にWeb定時気象解説（1週間先までの見通し）及び気象解説資料の提供
- 大雨の警報級の可能性が高まった場合等は**Web臨時気象解説を実施**、さらに複数市町村への**土砂災害警戒情報等の警戒レベル4相当**情報発表が想定される場合は、県及び市町村、河川事務所への**Web解説を常時接続**にして、リアルタイムで**相互に情報交換ができる環境**を整えている。

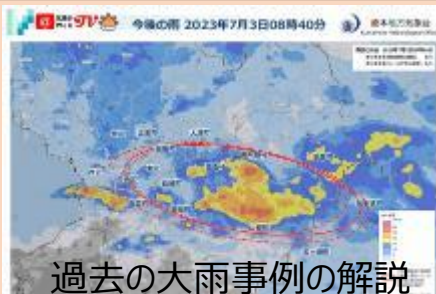
定期的なWeb気象解説 毎週金曜11:30～

当日スケジュール

～10時開催案内(解説内容・URL)
～11時半 資料送付
11時30分～定時気象解説

解説内容

- ・季節に応じた天気の見通し
- ・要望に応じた気象知識
- ・地震火山に関する知識



臨時のWeb気象解説 (悪天時常時接続)

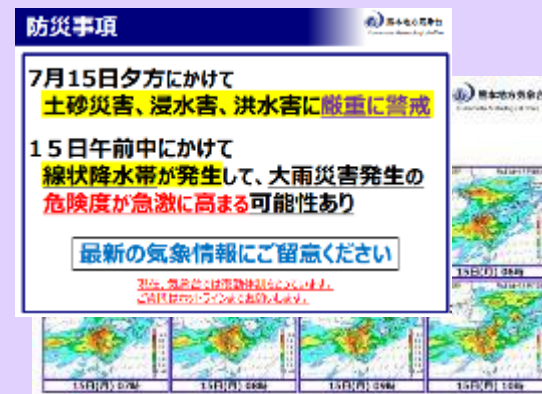
解説内容

- ・天気の見通し(現象のピークなど)
- ・警報等発表の見通し
- ・警報等解除の見通し



悪天時の常時接続の様子

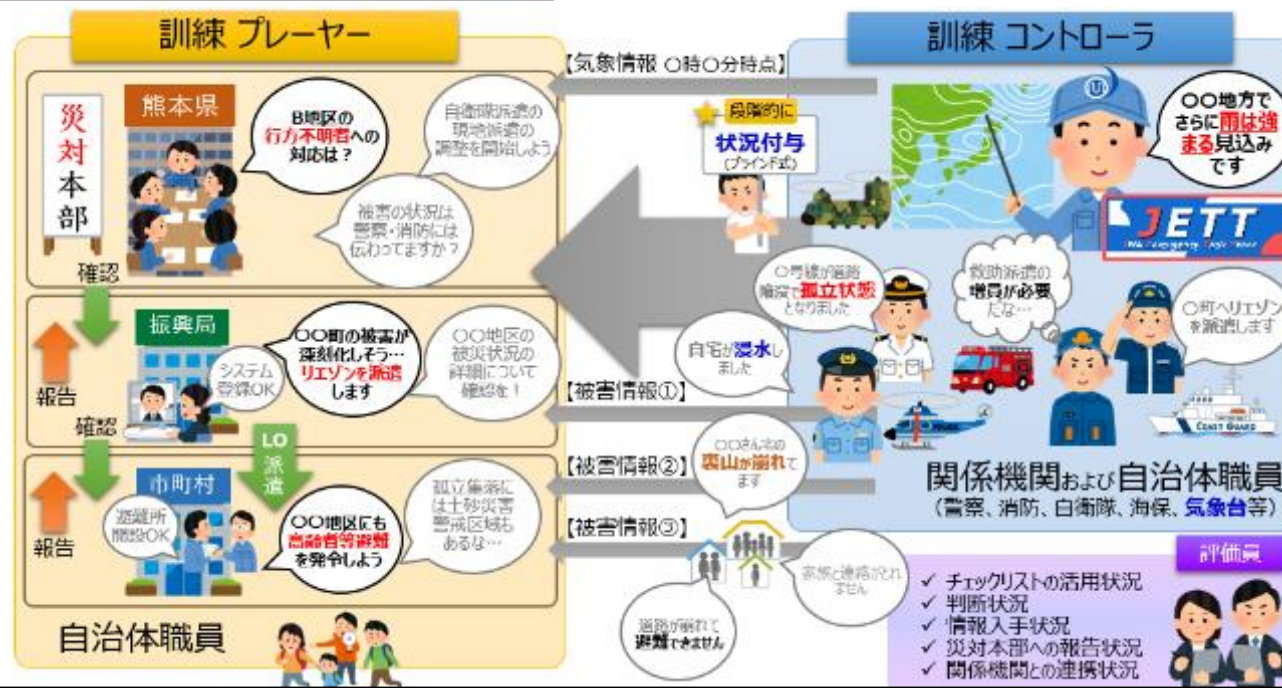
解説資料の提供



県豪雨対応訓練

- 熊本県が行う令和2年7月豪雨を教訓に防災担当職員の対応能力向上および関係機関との連携強化を図る豪雨対応訓練への参加協力
- 令和6年は東京大学先端科学技術研究センターClimCORE（クライムコア）と連携し、再解析（平成29年7月九州北部豪雨）データを利用した訓練を玉名市、菊池市、阿蘇市で実施

訓練当日全体のイメージ

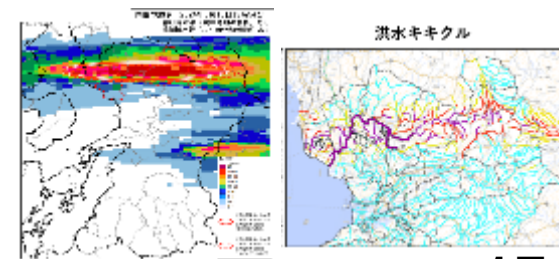


令和6年度訓練の様子



気象台の役割

- 気象情報に関連するシナリオ作成
- 市町村に特化した付与資料（防災情報等）の作成
- コントローラ役としての訓練参加、JETT派遣を想定した災害警戒本部運営訓練等での気象解説（令和6年は県に7回と8市町村に派遣）



線状降水帯半日前予測の実績（R6）



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来
(気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー)



令和6年度の適中率と捕捉率

府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから 検証)	令和6年
線状降水帯発生呼びかけ「あり」 のうち 線状降水帯発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	適中率 (高いほうが良い) 約10% (81回中8回)
線状降水帯発生「あり」 のうち 線状降水帯発生呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率 (高いほうが良い) 約38% (21回中8回)

- 線状降水帯発生呼びかけを行った81回中、線状降水帯発生「あり」は8回であるが、それ以外にも、
- ・ 3時間降水量が100mm以上となったのは27回
- あることから、**この呼びかけが行われた時には、大雨災害への心構えを一段階高めていただくことが重要**である。

九州での実績表

線状降水帯発生日 または予測日	府県予報区	線状降水帯の発生状況	呼び掛け状況	3時間降水量 最大値
5月27日～28日	鹿児島県	発生なし	実施	約110ミリ
	宮崎県	発生なし	実施	約110ミリ
6月17日～	鹿児島県	発生なし	実施	約90ミリ
	宮崎県	発生なし	実施	約90ミリ
6月20日～21日	宮崎県	発生なし	実施	約80ミリ
6月21日	鹿児島県	線状降水帯が発生	実施	約150ミリ
6月27日～28日	山口県	発生なし	実施	約80ミリ
	福岡県	発生なし	実施	約45ミリ
	佐賀県	発生なし	実施	約25ミリ
	長崎県	発生なし	実施	約100ミリ
	熊本県	発生なし	実施	約100ミリ
	大分県	発生なし	実施	約60ミリ
7月14日	長崎県	線状降水帯が発生	実施	約190ミリ
7月14日～15日	山口県	発生なし	実施	約60ミリ
	福岡県	発生なし	実施	約110ミリ
	佐賀県	発生なし	実施	約120ミリ
	熊本県	発生なし	実施	約110ミリ
	大分県	発生なし	実施	約70ミリ
8月28日～29日	鹿児島県	線状降水帯が発生	実施	約190ミリ
	宮崎県	線状降水帯が発生	実施	約200ミリ
8月28日～30日	山口県	発生なし	実施	約90ミリ
	福岡県	発生なし	実施	約120ミリ
	佐賀県	発生なし	実施	約120ミリ
	長崎県	発生なし	実施	約150ミリ
	熊本県	発生なし	実施	約170ミリ
8月29日	大分県	線状降水帯が発生	実施	約120ミリ
10月22日	宮崎県	線状降水帯が発生	未実施	約130ミリ
11月2日	長崎県	線状降水帯が発生	未実施	約300ミリ
11月9日	鹿児島県	線状降水帯が発生	未実施	約300ミリ